

第2次ちば文化振興計画の概要

(平成28年度～平成32年度)

【第3章 施策の方向性】

◎基本目標 ちば文化の創造と千葉県民のアイデンティティーの醸成でつくる心豊かな県民生活と活力ある千葉県

【第1章 計画の概要】

◎計画策定の趣旨

現計画での取組や諸情勢の変化を踏まえ、今後さらに総合的かつ効果的な文化振興施策の推進を図るため、計画を策定する

◎計画の性格

現計画の基本的な考え方を継承しながら、県として取り組むべき方向性を定める

◎計画の期間

平成28年度～平成32年度

【第2章 文化芸術を取り巻く状況】

◎文化芸術を取り巻く諸情勢の変化

- ・少子高齢化による地域コミュニティの衰退や担い手の不足
- ・文化庁、「第4次基本方針」を策定
- ・「文化プログラムの実施に向けた文化庁の基本構想」の公表

◎本県における状況

子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実や、地域の伝統文化などの保存・継承が求められている

【第5章 推進体制・進捗管理】

◎関係機関等との連携

各主体に期待される役割を明記する

◎計画の進捗状況の評価等

基本目標と施策の柱ごとに評価し、進捗管理を行う。

【第4章 施策の体系】

施策の柱

1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり ～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～

文化芸術活動を行う人々の自主性や創造性が十分尊重されるとともに、いつでも、どこでも、だれでも、等しく、文化芸術にふれ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができるよう、様々な機会を提供する。

2 地域文化の保存・継承・活用による地域づくり ～あらゆる地域で地域文化が息づくために～

県民が伝統文化にふれる機会を提供するとともに、伝統文化の担い手を育成する。
また、ちばの文化資源を活用し、地域の活性化を図る。

3 ちば文化の多様性と発信力強化による新たな価値の創出 ～多様な「ちば文化」の魅力を引き出し、発信するために～

これまでの文化の概念にとらわれない創造活動の魅力を引き出し、ちばをもっと知ってもらうことで、地域への愛着を深める。

4 総合的な推進のための支援・連携体制の構築 ～「ちば文化」を支えるひとを育て、つなぐために～

県民の自主的な文化芸術活動を支援するため、国・市町村等との連携を強化する。
さらに、観光や産業などの幅広い分野と連携し、地域文化の振興を図る。
また、文化発信拠点となる文化施設の機能充実と連携強化を図る。

5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたちばの文化力向上 ～更なる発展に向けて～

東京2020大会における文化プログラム関連イベントの実施を通じて、ちばの魅力を発信し、文化振興と地域活性化を図る。
さらにオリンピック後の文化芸術活動と地域の継続的な活性化につなげる。

施策の展開と主な取組

―は新規、又は強化する取組

① 県民の自主的な文化芸術活動の促進

② 様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供

○様々な場での鑑賞機会の提供

③ 子どもたちの文化芸術活動の充実

○学校教育における文化芸術活動の充実

④ 高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実

○障害の有無にかかわらず文化芸術活動に参加できる場づくり

⑤ 伝統文化にふれる機会の提供

⑥ 伝統文化の保存・継承、担い手の育成

- 記録映像等の作成
- 児童生徒に対する伝統文化の継承
- 担い手の育成

⑦ 文化財の保存整備の支援

⑧ 文化的景観等の保全・活用

⑨ 文化資源の活用と地域の活性化

- 文化芸術を活用したまちづくり
- 日本遺産認定への取組み

⑩ 多様な文化の発展

○新たな創造活動の情報発信

⑪ 「ちば文化」の魅力の発掘と情報の収集・提供

⑫ 「ちば文化」の魅力を発信する文化事業の充実

○県内外の文化施設による共同事業・広報の協力

⑬ 「ちば文化」を担うひとづくりの推進

⑭ 文化のネットワークの構築

- 県内外の機関との連携
- 観光等の幅広い分野との連携

⑮ 多様な支援体制の構築

⑯ 文化発信拠点としての文化施設等の機能の充実

- 文化施設の機能の充実
- 学校の文化施設等の活用

⑰ 新しい文化と古くからの文化が織りなす「ちば文化」の世界への発信

- 文化プログラム関連イベントの実施
- 幕張メッセ周辺での積極的な文化事業の展開

⑱ 障害者、高齢者、青少年、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出

- あらゆる人々が参加・出演する文化事業の実施
- 公募等による新たな発想を取り入れた事業の展開
- 外国人受入体制の整備と「ちば文化」の魅力発信

⑲ 観光等様々な分野との連携による文化資源の活用

- 様々な分野との連携による文化資源の活用
- 先端技術と芸術を融合させた新たな文化の紹介

⑳ 文化プログラム関連イベントの実施により得られた資源の活用

- 事業参加者とのネットワークを活かした事業展開
- 様々な分野と地域の文化資源を継続的に情報共有する